

組立の前に必ずお読みください

# 360° 発光ロープライト II

## 製品取扱説明書

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。人体および財産への危害や損害を未然に防ぐため、本書をよくお読み頂き、内容をご理解された上で正しくご使用ください。

### ■ご使用前の確認

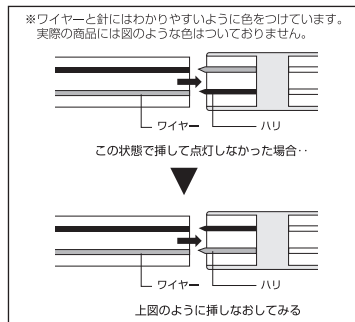
- ご注文内容と実際の製品の種類ならびに数量が正しいことをご確認ください
- 出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封時に製品が破損していた場合は速やかに販売店までお知らせください。
- ご使用になる前に、必ず点灯確認を行ってください。
- 配線工事は必ず工事店又は有資格者に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- 作業は電源を切った状態で行ってください。
- 本体コードを引っ張ったり、コードを引きずりながら持ち運んだりしないでください。断線の原因となります。
- 低温時はコードが硬くなりやすく断線しやすくなります。取り付ける際は無理な負荷がかからないようにご注意ください。
- 設置の際に本製品を無理に引っ張ったりしないでください。また、コードや電球を強く圧迫するような設置もしないでください。
- LED 製品は特質上若干、色や輝度のバラつきがある場合がございます。ご了承ください。
- 光源の直視は避けてください。視力の低下を招く恐れがあります

### ■ご使用上の注意

- 故障等のおそれがありますので、必ず弊社指定の電源をご使用ください。
- 機器に高電圧がかかる絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を改造、分解するなど無理な方法でのご使用はしないでください。
- 通電したままの製品の取付・接続・取り外しをしないでください。
- 製品取付時、定格電圧・電源電圧・電源周波数の区分を必ず確認してください。
- LED が点灯しない場合やチラつき等、点灯が異常な場合、および異臭がするなどの場合には、すぐに電源を切り販売店・工事店にご相談してください。
- LED は発光色や明るさにバラツキがでる場合がありますが、故障や異常ではありません。
- 本体及び電源コードを束ねたまま長時間の点灯はしないでください
- 電源と灯具間の延長は、電圧降下を配慮して電気容量を確保した電線をお使いください。
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張らないでください。断線による故障や感電、火災の原因となります。
- コードや LED 部分を踏みつけたり、強い力で折り曲げたりしないでください。球切れや断線による故障や感電、火災の原因となります。
- 弊社の製品以外との接続はしないでください。
- 接続して使用する場合、製品に表示された接続可能範囲を守ってお使いください
- 本製品を布や紙などで覆わないでください。また、カーテンや揮発物など燃えやすいものの付近には設置しないでください。火災・焼損・過熱・変形の原因となります。
- 防雨タイプですが、常に水や湿気のかかる場所、水中での使用はしないでください。
- 本製品が汚れた場合は水洗いせず乾いた柔らかい布、又は中性洗剤を浸透させよく絞った柔らかい布で拭き取ってください。
- 設置する場所は、突起物の無いところを選んでください。電線等に傷がつき漏電や感電、火災の原因となります。
- 雨天での施工や濡れた手での設置はしないでください。
- 極端に温度が高くなる場所（金属製のフェンス、バルコニー、幕板など）には設置しないでください。
- 本製品をシンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 使用後は、塩分、水分をよくとってから湿気の少ない場所で保管してください。
- メンテナンスが可能な場所に設置してください。
- 屋外に常時設置の場合は 3 ヶ月に 1 度を目安に、コードの劣化、電球の破損、輝度の減衰等が無いかを調べてください。このような症状が見られる場合は速やかにメンテナンスをしてください。
- 以下の項目に該当する場合は保証対象外となりますのでご注意ください。  
※本取扱説明書の注意事項に反する使用をした場合。※天災、人災などによる故障の場合。※取付業者による破損の場合。
- 現場調査費、現場修理費工事費等の二次的派生費用につきましては、いかなる場合におきましても保証いたしかねます。

### ■点灯しないときの対処法

- 複雑な曲げを行っていないかご確認ください。行なっている場合は一度ストレートな状態にして点灯させてみてください。
- チューブライトが電源コードや接続パーツにしっかりとささっているかご確認ください。
- 指定された接続数を越えて接続していないかご確認ください。接続数を越えている場合は正しい接続数で接続し直してください。指定接続数以内で接続している場合は一度接続を解除して単独で点灯するかご確認ください。
- チューブライトに極端な負荷がかかっていないかご確認ください。
- チューブライトの 2 芯のプラス・マイナスが逆の場合がございます。右図のように一度チューブライトを接続部から抜いて 180 度回転（穴にささっていた針と違う針をさすようにするため）させてから挿し直してみてください。



### ■本製品は次のような環境下では使用できません

- 周囲温度が -10℃～35℃を超える場所。
- 粉塵が多い場所。
- 振動が多い場所（常時、振動や衝撃がある場所）。
- 可燃性ガス、腐食性ガス等が発生する場所
- 浴室等、高温多湿になる場所。
- 灯具が浸水するおそれのある場所。
- 海水がかかる場所
- 不安定な場所。

- 製品同士の接続には専用のコネクタをお使いください。
- 製品をカットしてお使いになる場合、カットマークの部分で切ってください。それ以外の部分を切ると点灯しなくなります
- 屋外で使用する場合は、コネクタの部分など防水処理を必ず行ってください
- 10m 以上の長さで使用する場合には、初めに 10m ごとに固定をし、本体に重さがかからないようにしてください。（10m につき 20kg まで）
- 製品を 180 度曲げることは避けてください。また、LED の位置で曲げないようにしてください
- ロープライトは専用のクリップとレールを使用してください。インシュロック等で固定する場合には LED 部分を避けてください。

### ＜接続時の注意事項＞

- ロープライトを接続するためにハリをワイヤーに差し込む時、無理をするとハリが曲って他のワイヤーに接触しショートの原因になります。接続の際は真直ぐ確実に奥まで差し込んでください。
- 予め千枚通し等の尖った物でワイヤーに穴を開けておくことで差し込みしやすくなります。四方錐などで穴を開けようとすると、穴が裂ける可能性がありますのでご注意ください。またしっかり奥まで差し込まないと点灯不良の原因となりますのでご注意ください。
- 接続した部分は施工方法によって、雨水がしみ込みやすくなっておりまして、完全に水がしみ込まないように防水処理をしてください。

### ワイヤーの接続

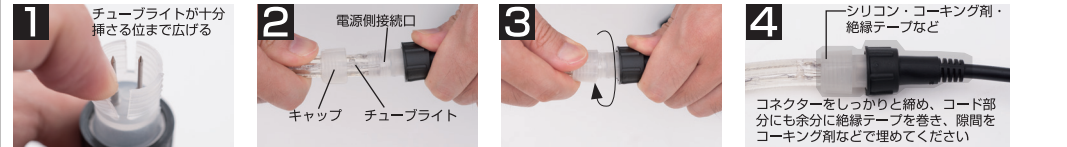


通常の状態では、ワイヤーにピンが刺さりにくく無理にピンが曲ってピンが刺さりやすくなります。

千枚通し等でピンの長さ位までワイヤー部分に差し込んで穴を広げればピンが刺さりやすくなります。

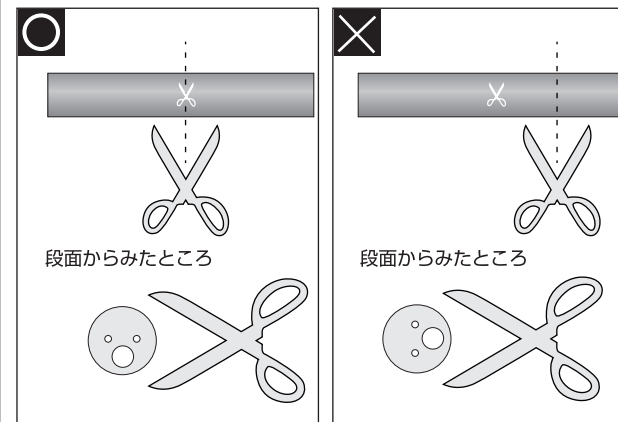
穴を広げる際に真っすぐに刺さるように気を付けて作業を行ってください。φ1.1mm などは、細いワイヤー部分に差し込むと、誤って他のワイヤー部分やワイヤーの配線部分の穴にまで空けてしまう事もあるので、充分にお気を付けてください。

電源コードとの接続 ※コントローラー・I型コネクタ・T型コネクタも同様の方法です。



[1] カバーを広げます [2] 電源部のキャップを外し、チューブライトにくぐらせておきます。チューブライト（ロープライト）を電源コードやコントローラーなどの接続部に差し込んでください。無理に奥まで差し込みすぎるとピンが曲る場合がございますので、ご注意ください。また差し込みが浅すぎますと点灯不良の原因となりますので、ご注意ください。[3] 電源側の方をしっかりと持ち、キャップをまわしていきます。間違えて電源側の方をまわさないように、ご注意ください。[4] しっかり締めた後、防水処理を行ってください。防水処理は絶縁テープだけでは不十分ですので、必ず市販のシリコンやコーキング剤などを充填してください。

### カッティングユニット



カッティングユニットとは、球と球の電気配線されて無い部分の間隙となります。ハサミマークが入っていますので、必ずそのマーク上をカットしてください。誤って電気配線がされている部分をカットしますと、そのユニット部分は球切れ状態となり、点灯しなくなりますのでご注意ください。LED ロープライトの中には、上部にある 2 本のワイヤー以外に、中心に電気配線が通っております。



このハサミマーク中心をカットします。その際、まれですがカットマークの位置にロープライトの球部分の配線が掛かっている場合がありますので、カットの際はよく確認のうえ、配線が掛かっている場合は少しずらしてカットしてください。